

■八杉貞利 ロシア語学者。日本のロシア語研究の先達で、後進の殆どに影響。世界水準超える「岩波露和辞典」。

やすぎさだとし

三つの内乱・1876＝ 東京に生まれた。

明治14年政変1881＝ 5歳：

内閣発足・・・1885＝ 9歳：

初の対等条約1888＝12歳：高等師範学校附属小学校高等科を卒業。

帝国憲法発布1889＝13歳：

日清戦争始・1894＝18歳：高等師範学校尋常中学科を卒業。

田中正造直訴1901＝25歳：「外国語教授法」。東京帝国大学文科大学言語学科卒業後、ロシアに留学、
ボードゥアン・ド・クルトネらについて比較言語学とスラブ語比較文法を修め、
日比谷公園・1903＝27歳：東京外国語学校教授に就任後、
日露戦争始・1904＝28歳：日露戦争が起こったため帰国、
日露戦争終・1905＝29歳：
満鉄発足・・・1906＝30歳：文学方面の著書「詩宗プーシキン」，

明治天皇没・1912＝36歳：

第一次大戦始1914＝38歳：翻訳「露語発音解説」，地誌的な「露西亜及露西亜人」，

民本主義・・・1916＝40歳：*「露西亜語学階梯」を皮切りに，ロシア語について解説することに努め，
ロシア革命・1917＝41歳：「簡易日露会話」。

原敬首相暗殺1921＝45歳：

水平社結成・1922＝46歳：「露西亜語文法」，

護憲三派圧勝1924＝48歳：サルトゥイコフ「請願人」・グリボイエドフ「智のための悲哀(智慧の悲しみ)」翻訳，

円本時代始・1926＝50歳：「初等露西亜語文法」，

海軍軍縮条約1930＝54歳：アレクサンドラ・トルスタヤ「トルストイの思ひ出」深見尚行共訳，「自修新ロシア語」，
満州事変・・・1931＝55歳：「トルストイ全集 第20巻 日露戦争に就て」深見尚行共訳，
五一五事件・1932＝56歳：「かなつき日露会話」「ロシア語発音五時間」「新集初等ロシア語讀本」，
国際連盟脱退1933＝57歳：アレクサンドロフ「新訳露和大辞典」鈴木於菟平・松本圭亮共訳，
帝人疑獄事件1934＝58歳：「露語発音講話」，
芥川直木賞始1935＝59歳：*代表的著書の「岩波版露和辞典」。語彙および用例の豊富さ，訳語の正確さはこの辞書のすぐれた特徴であるが，とくに語形変化とアクセントの移動の表示は，当時，世界のどのロシア語辞典にも見られなかったほど完全なもので，日本のロシア語学習者に与えた便益ははかり知れぬものがあった。
日中戦争始・1937＝61歳：約30年にわたってロシア語科主任教授を務めてきた東京外国語大学を定年退官。かたわら東京帝国大学，早稲田大学などの講師をも務めながら，深い学殖で啓蒙的なものを出版し続け，
第二次大戦始1939＝63歳：「自修露西亜語文法・会話」「ロシア語文法」。「ロシア文化の研究 八杉先生還暦記念論文集」，
日米開戦・・・1941＝65歳：「ロシア語発音学」，

敗戦・・・1945＝69歳：

新憲法施行・1947＝71歳：「露和辞典」「露語新読本」，
極東裁判決・1948＝72歳：「基礎ロシア語」，
三大事件・・・1949＝73歳：「自修新ロシア語講話」，

独立回復・・・1951＝75歳：

なべ底不況・1957＝81歳：
安保闘争・・・1960＝84歳：*晩年の大きな仕事「岩波ロシア語辞典」を完成。紫綬褒章。
ｲｲｲｲｲ病始・1961＝85歳：「八杉ロシア語教本」，
大学紛争始・1965＝89歳：銀杯一組を賜って，
いざなぎ景気1966＝90歳：_没した。

インターネットWikipedia，平凡社百科事典，